

ディサービスを開設してから今年で13年目を迎えます。おかげさまで今は、茅ヶ崎・藤沢で9拠点10事業所、職員数約300名の規模となりました。

この間、リフシアは単なる規模拡大ではなく、「心を添えてともに生きる」の理念の下、常に「地域における在宅生活継続を念頭に、在宅生活を支えるサービスを一元的に提供できる「サービス・ネットワーク」の構築に努めて来ました。この「サービス・ネットワーク」は、介護サービスの範囲に留まらず、生活支援である食（介護食・嚥下食等）や予防観点の自立者向け教室までと幅広い分野に至っています。

高齢化の進展は、団塊の世代が75歳以上の年齢に達する2022年頃か

唱しています。このイメージは、「住まいを中心に、医療・介護・リハビリ・生活支援などが切れ目なく提供される」姿です。

このような大きな社会変化の中に、私たちが今まで築いてきた「サビス・ネットワーク」は、これからの地域社会に貢献できるものと確信しています。

この「サビス・ネットワーク」をさらに強化・充実させるために、今年は、特に次のようなことに取り組みたいと考えています。

①専門職（リハビリ職、栄養士など）がお客様の状態に応じて横断的に関わることで、在宅生活の質と継続性を高める「トータル・ケア・アセスメント」の強化。

②今後増加が予想される、在宅での医療ニーズへの対応として看護機能の強化。

食形態開発と配食の実施
④要介護ではないが、「将来に向けて心身機能がちよつと不安」「もつと活動的に暮らしたい」といった声にお応えすべく、健康呼ほう事業の充実と拠点化検討。

私たちリフシアは、こういった幅広い取り組みを通して、本格化する超高齢化社会を見据え、茅ヶ崎・藤沢における地域社会創造に積極的にその役割を果たすべく、職員一同日々奮闘してまいる所存です。

本年もぜひともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

そして皆様にとつても、良い年になりますよう心よりお祈り申し上げます。

平成29年元旦
株式会社リフシア
常務取締役 小嶋達之



リフシア
は平成16
年、茅ヶ崎
市萩園に

新年おめでとうございます
地域の皆様の支えのもと、新しい年を
迎えることができましたこと、厚くお礼申し上げます

ら本格化します。国は、今後劇的に変化する人口動向を踏まえ、「地域包括ケアシステム」の構築を提

③咀嚼や嚥下機能の低下、栄養制限などがあっても「おいしい食事」を口から食べることを重視した

④要介護ではないが、「将来に向けて心身機能がちよつと不安」、「もっと活動的に暮らしたい」といった声にお応えすべく、健康呼ほう事業の充実と拠点化検討。

私たちリフシアは、こういった幅広い取り組みを通して、本格化する超高齢化社会を見据え、茅ヶ崎・藤沢における地域社会創造に積極的にその役割を果たすべく、職員一同日々奮闘してまいり所存です。

本年もぜひともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

そして皆様にとつても、
良い年になりますようお願い
よりお祈り申し上げます。

平成29年元旦
株式会社リフシア
常務取締役 小嶋達之

イベント紹介

「これからの暮らしを支える新しいサービス」

■日時／3月18日(土)10:30～15:30 ■場所／ラスカ茅ヶ崎6階ホール
子供からお年寄りまで、家族みんなが楽しめる盛りだくさんのイベントで
皆さまをお待ちしております。

会場では、健康ぼうし事業でお馴染み原田和巳氏の昔懐かしおもちゃ体験コーナー、体操教室、教えて介護の何でも相談コーナー、専門家による相続対策等の相談コーナー、真空調理で作る嚥下食試食コーナー、介護のお仕事相談コーナーなどを予定しています。

茅ヶ崎市初の看護小規模多機能を併設する、リフシア矢畑（今春オープン）の紹介もあります。

お問い合わせ TEL0467-55-5102

入場無料



くだものシリーズ⑤ みかん

みかん 〓ニ、
表記は色々です。
みかんの皮をむいて、そのまま食べるのは日本だけのようです。欧米ではジュースか缶詰が主流だそうです。
私は子供の頃静岡に住んでいたので、当然、温州みかんを指先が黄色く染まるまで食べていました。その後、全国各地、和歌山、愛媛、熊本、津久見などでも生産量が増え、ブランド化が計られるようになりました。それに比べ、だんだん味が甘くなり、酸味が少なくなり、苦みに至っては全然ありません。私は子供頃、秋の運動会で食べた表面が緑色でわずかに黄色味を帯びた、酸っぱいみかんの味が今でも忘れられません。

ところで、みかんというところ、炬燵に入って食べるというイメージが強いです。みかんと炬燵の名コンビという日本的な原風景が消えてしまったのは残念です。それは、みかんの消費量が、最盛期の四分の一になり、炬燵に至っては九割も減ったといえますから、その組み合わせは、推して知るべしでしょう。

炬燵に入って、テレビを覗ながら炬燵の上に盛られたみかんに手を伸ばすという家庭団欒の図は、「サザエさん」「ちびまる子ちゃん」の世界で、現代の生活では少なくなりました。

みかんの歌に懐かしい童謡があります。

♪みかんの花が咲いている
思い出の道 丘の道
はるかに見える 青い海…
「みかんの花咲く丘」は海沼
実が伊東へ演奏旅行に行く
途中、東海道線の車中・湯

河原駅辺りの車窓で曲想を得て作曲し、翌日直ぐ、川田正子に歌わせたそうです。戦後、いち早く流行って今なお歌われている童謡のひとつです。

みかんの花は5月ごろ白い花が咲きます。

蜜柑と言えば、古くは紀伊国屋が思い出されます。紀伊国屋文左衛門という商人が荒天の中、紀州和歌山から江戸へ大量のみかんを運んで大儲けしたという故事です。今では、紀伊国屋といえば、東京新宿の大手本屋や鎌倉のスーパーが直ぐ浮かびますが…

元々は「蜜柑」でしょう。最後に、みかんは奈良時代に中国からタチバナ（橘）が渡来しましたが、食用には適さず、神木として主に神社などに植えられていました。それに改良を重ねているうちに、現在のような食べられるみかんが、鹿児島で生まれたのだそうです。名前は中国の地名から温州みかんと名付けられました。（井

鋼鐵

明けまして
おめでと〜ございます
編集室は今年も
頑張ります。



優秀賞はリフシア善行と
リフシア松が丘デイサー
ビス



らいふ通信「ふちらいふ」冬号 Vol.46
2017年1月15日（季刊発行）
編集／ふちらいふ編集室

〒253-0071 神奈川県茅ヶ崎市萩園 2822-1
TEL0467-55-5102 FAX0467-55-5103
発行／株式会社リフシア



特集記事

リフシアのサービスネットワーク

時間を忘れるほど夢中になる おもちゃを使った介護予防教室

『リフシア健康呼ぼう事業』は、どの会場も高齢者の笑い声と活気であふれています。仕掛人原田和巳氏の提案するユニークな取り組みが、将来に不安を感じる高齢者の活動の場を広げると評判になっています。(ふちらいふ 2015 春 Vol. 39 号でも紹介)

サービス付き高齢者向け住宅リフシア浜之郷や、茅ヶ崎商工会議所、ハマミナ会場等で開催している『ハッピー・らいふ・カレッジ』もそのひとつです。



新しいゲームにチャレンジして「脳活」!



木のおもちゃでどこまで高く積めるかチャレンジ中 (サービス付き高齢者向け住宅リフシア浜之郷)



↑茅ヶ崎市転倒予防教室(農協会場) ↓協力して作るのも楽しみ



お料理経験の長い女性陣、作ったスイートポテトは誰にプレゼントするのでしょうか(ハマミナ調理室を借りて)



資格:理学療法士、おもちゃインストラクター、アクティブティインストラクター、認知症ケア専門士、福祉住環境コーディネーター2級
所属学会:日本理学療法士学会、日本認知症ケア学会、日本ボパース研究会

リフシア健康呼ぼう
事業担当
原田 和巳
はらだ かずみ

「地域リハビリテーション」
Vol.11 2016年11月号に出筆:
おもちゃを使った介護予防教室
「やりたい」が生む主体的活動



「おもちゃの活用は身体や道具の操作、ルールの理解など個々の機能への働きかけに加え、ゲームを成立させるためにチャレンジしたり、教えてあげたり、...一喜一憂するなど、参加者同士をつなぐ心の動きに対する働きかけも大きい」(「地域リハビリテーション」原田さんの原稿より)という考えで、積極的におもちゃを活用しています。

3月18日ラスカ茅ヶ崎6階ホールで、お子さんからお年寄りまで一緒に楽しめる『おもちゃとミニ体操』が体験できます。

リフシア 歳・時・記

グループホーム・小規模多機能・看護小規模多機能



神明

お誕生日は、リクエストにお応えして
スタッフが手作りします
11月はステーキ、12月は鰻鍋でお祝いしました



今が旬の食材で
お料理するのは
“神明の海老蔵?
シェフ”

特別な日の
お祝いは精魂込めてつくります



柳島

近所の回るお寿司屋さんで
外食を楽しみました



私たちは常連です
から、店内は車いす
でも大丈夫



善行

ボランティア訪問や
お散歩・イベント、
もりだくさんです



クリスマスは地域で活躍するボ
ランティアさんが演奏をプレゼント
(グループホーム1階)

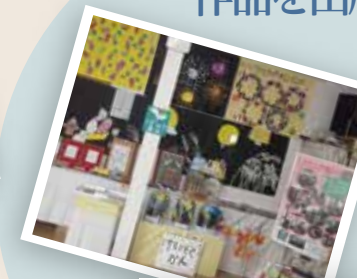


↑クリスマスが終わったら、
お正月のお祭りも準備
↓善行の近くにはさる菊の
名所があります



香川

自治会館まつりに
リフシア香川の
作品を出展しました
(香川公民館)



みんなで作った作品を飾らせてもら
いました

